

目次

I 令和6年度事業概要編

概	要	1
沿	革	1
予 算	・ 決 算	2
事 業	統 計	3
所 員	名 簿	3
試 験	・ 検 査 業 務	4
調 査	・ 研 究 業 務	9
行 事	お よ び 見 学 の 報 告	22

II 調査・研究報告編

[報文] 河川中繊維状マイクロプラスチック分析法の精度担保に関する検討	25
-------------------------------------	----

中尾 賢志・他

本検討は、大阪市内の中流域河川である第二寝屋川下流におけるマイクロプラスチック調査を通じて、特に繊維状マイクロプラスチックの分析法における精度の担保について検討した。調査は環境省によって策定された「河川・湖沼マイクロプラスチック調査ガイドライン(2023年3月版)」に基づき、自然通水法を用いて実施した。繊維状マイクロプラスチックは、通常のマイクロプラスチック分析と比較して、同定不可率や逸失率が高く、分析が困難であることが明らかになった。特に、ポリエチレンテレフタレート(PET)は非常に細い繊維として検出され、分析対象粒子の繊維幅の下限値を設定する必要があると考えられた。

[報文] 微小粒子状物質の成分分析結果に関する統計的解析～環境省データを用いた主要成分の比率の分布及び統計的手法による比較～	31
--	----

酒井 護

環境省WEBサイトに掲載されている微小粒子状物質の成分分析結果を用いて、主要成分の比率の分布範囲を示した。また、これらの季節・地点分類による分布範囲の相違について並べ替え検定により平均値の差を考察した。

[報文] 化学物質環境実態調査における自動同定・定量データベースシステム(AIQS-GC)を用いたスクリーニング調査	43
--	----

市原 真紀子

化学物質環境実態調査において、ガスクロマトグラフ質量分析計(GC-MS)による自動同定定量システム(AIQS-GC)を用いたスクリーニング調査を実施した。アントラセン、ジフェニルエーテル、ジベンジルエーテル、リン酸トリブチルについてAIQS-GC分析・解析を実施した結果、上記4物質はブランク(超純水)及び大川毛馬橋のいずれも不検出であった。

他紙発表および学会発表要旨	49
---------------	----